



ASTON MARTIN

ASTON MARTIN LAGONDA、 ITを促進してビジネスを加速

Summary

会社名:

Aston Martin Lagonda

業界: 製造

ビジネス上の課題:

多様な製造環境やオフィス環境をサポートする柔軟なネットワークを構築する。

技術ソリューション:

- QFX5100およびQFX5110スイッチ
- EX4300、EX2300、およびEX2200イーサネットスイッチ

ビジネス上の成果:

- ビジネススピードを満たすためにITを加速化
- 多様なオフィスおよび製造要件をサポートする一貫したネットワークを構築
- 自動車設計および生産チームのCAD、モデリング、エンジニアリングソフトウェアとの連携を簡素化

Aston Martin Lagondaは、英国で有名なスポーツカーブランドです。多くの人にとって、それはジェームズ・ボンドの愛車であり、究極のスタイル、卓越性、美しさを備えた車であることは言うまでもありません。また、ル・マンや世界耐久選手権などのスポーツカーレースの分野でも豊かな伝統を誇ります。職人技、デザイン、テクノロジーを融合し、DB11、Rapide S、DBS Superleggera、Vantageといった象徴的な車を作り出す革新的な企業です。同社は2021年に、世界初の高級電気自動車会社としてLagondaブランドを新たに発表する予定です。柔軟なネットワークインフラストラクチャを支えるために、同社はジュニパーのネットワークに信頼をよせています。

Aston Martin Lagondaは、高級車を新たなレベルへと引き上げます。長期的に持続可能な自動車事業を構築する戦略的計画の一環として、Lagondaの全電気自動車など7つの新モデルを7年間で生み出すという「セカンドセンチュリー計画」を策定したのです。

「Aston Martinは、世界で最も優れた自動車技術を構築する英国のスポーツカーブランドとなるべくして存在しています」と、Aston MartinのIT担当ディレクターであるスティーブ・オコナー氏は述べます。

セカンドセンチュリー計画を実現するにあたり、Aston Martin Lagondaでは、ビジネスとITの足並みをそろえていく必要がありました。情報テクノロジーは、社内ソフトウェア開発から自動車設計、手作業による製造から、日常の財務、マーケティングやその他のビジネス運用など、ビジネスの根幹を支えています。

「IT部門の最大の課題は、ビジネスの速度についていくことでした」と、オコナー氏は述べます。「私たちは、ITサービスを迅速に提供するために、より革新性、俊敏性、応答性を高める必要がありました。」

「最近では、ITは公共事業のように見なされています。機能しなければならない存在です。実証された、ビジネスとして必要とする成果を提供するネットワークを設けることが私たちにとって重要なことです。ジュニパーはそれを提供してくれました。」

- スティーブ・オコナー、Aston Martin社IT担当ディレクター

適切なネットワークパートナーを見つける

IT変革は、英国ウォリックシャーのゲードンにあるAston Martin Lagondaの本社で始まりました。グローバル本社のネットワークは、長年にわたって組織的に成長し、製造業やオフィス環境向けの多様なテクノロジーニーズをサポートしてきました。

「2つの環境全体で一貫したネットワークプラットフォームを構築し、その上でIT機能を実行したいと考えていました。」と、Aston Martinのネットワークアーキテクトのダリル・アルダー氏は述べます。

Aston Martin Lagondaは、ネットワークサービスにさらに俊敏性をもたらすためにジュニパーネットワークスを採用しました。

「私がパートナー候補に最初に求めたのは、IT機能を拡張する存在となっただけのことでした」と、オコナー氏は述べます。ジュニパーに出会い、同社のビジネスがいかに弊社のビジネスと関連性があるかを理解し、ジュニパーが私たちに必要なIT機能の拡張を提供できることは明らかでした。」

「ジュニパーのおかげで、シンプルで一貫性に優れ、サポートしやすい高パフォーマンスのネットワークが実現しました。ジュニパーは、投資収益率を向上させてくれます。」

- スティーブ・オコナー、Aston Martin社IT担当ディレクター

パフォーマンスを考慮した俊敏なネットワークング

Aston Martin Lagondaは、製造工場、エンジニアリングセンター、管理事務所、およびお客様向けのパフォーマンスセンターとブランドセンターなど、Gaydonと世界他30カ所でのジュニパーのスイッチを使用しています。エンタープライズアプリケーションがスムーズに動作するため、自動車および製品開発チームがCADなどのヘビーデューティ設計ツールを使って簡単に作業できます。

2019年12月、Aston Martinは、南ウェールズのイギリス空軍基地であるSt Athanに新しい製造施設を開設します。90エーカーの敷地にある3つの超大型航空機格納庫を最新鋭の製造施設に変身させました。St Athanは、ブランド初のSUVであるAston Martin DBXのための唯一の生産施設です。2018年には、Aston Martin Lagondaの「電気化の拠点」そしてLagondaブランドの製造拠点に選出されました。

「St Athanの新しい製造施設は、IT機能が新しい思考プロセスとGaydon現場で学習したすべてを実践することができる絶好の機会となります」と、オコナー氏は述べます。

IT機能のペースを加速

「当社の課題の1つは、社内におけるIT機能の認識を変えることでした」と、オコナー氏は述べます。「IT機能はこれまで、対応性が低く、需要を満たすことができない存在と見なされていました。IT機能を推進するにあたって最優先したことの1つが、お客様のニーズを念頭に置きながら、価値の高いITサービスを提供することでした。」

現在、ITチームは迅速に動き、新しいビジネス目標を達成するために迅速に拡張できています。「12か月間以内に、本社を含めた多様な要件を持つ6つの現場に新しいネットワークを導入しました。ジュニパーは、時代の最先端に必要な俊敏性を提供してくれます。」

「私たちは、ITに対する認識を覆して、イノベーションを実現する存在になりました」

シンプルで一貫性のあるネットワークが俊敏性を提供

「ジュニパーのおかげで、シンプルで一貫性に優れ、サポートしやすい高パフォーマンスのネットワークが実現しました」とオコナー氏は述べます。「ジュニパーは、投資収益率を向上させてくれます。」

Aston Martinは、オフィスおよび製造現場のスイッチングにジュニパーネットワークス®EX4300、EX2300、およびEX2200イーサネットスイッチを使用しています。アルダーは「EX4300は非常に重要となります。なぜなら、すべてのポートでギガビット接続が可能だからです。これはデザインチームが効率的に作業するために非常に重要です」と述べています。

Aston Martin Lagondaのデータセンターでは、IPファブリックにジュニパーネットワークスのQFX5100スイッチとQFX5110スイッチを使用しています。「ファブリックにより、レイヤー3接続をすべてコアに配置し、レイヤー2でアクセスを維持できるため、拡張性が非常に高くなります。」とアルダー氏は述べます。「ネットワークアーキテクチャを変更せずに、簡単にスイッチをコアに追加できました。」

ネットワークの問題はあまりなく、頻度も低くなりました。過去2年間で、サービスデスクチケットのうちネットワーク関連のものはわずか3%でした。

Aston Martin Lagondaネットワークチームは、ジュニパーのルーティング、スイッチング、セキュリティプラットフォーム全体で動作するJunos®オペレーティングシステムの簡素化と信頼性を評価しています。

「Junos OSは、チームにとって非常に管理しやすいものでした。」とアルダー氏は述べます。「私たちは設定を効率的にテンプレート化でき、ネットワークに拡張機能を導入するのも実に簡単になります。」

同時に、ネットワークチームは自動化の使用を進めています。オコナー氏は、「自動化により、人員を増やさなくても一貫した拡張が可能です。」と述べています。

「ジュニパーのシンプルなネットワークのおかげで、私たちは効率的にネットワークを運用できるネットワークチームを構築できました。」とアルダー氏は付け加えます。

地に足のついた関係

Aston Martin Lagondaとジュニパーの関係は強固なものです。「ジュニパーが持つ大きな差別化要因の1つは、当社の技術チームとジュニパーの技術チームとの関係性です」とオコナー氏は言います。「P2P(ピアツーピア)レベルで、ビジネスを継続するために必要なレベルに到達するために本当に重要となっています。」

「最近では、ITは公共事業のように見なされています。機能しなければならない存在です。実証された、ビジネスとして必要とする成果を提供するネットワークを設けることが私たちにとって重要なことです。ジュニパーはそれを提供してくれました。」

「ジュニパーのシンプルなネットワークのおかげで、私たちは効率的にネットワークを運用できるネットワークチームを構築できました」

- ダリル・アルダー、Aston Martin社ネットワークアーキテクト

詳細の参照先

ジュニパーネットワークスの製品およびソリューションの詳細については、www.juniper.net/jp/jaをご覧ください。

ジュニパーネットワークスについて

ジュニパーネットワークスは、世界をつなぐ製品、ソリューション、サービスを通じて、ネットワークを簡素化します。エンジニアリングのイノベーションにより、クラウド時代のネットワークの制約や複雑さを解消し、お客様とパートナー様の日々直面する困難な課題を解決します。ジュニパーネットワークスは、ネットワークを世界に変革をもたらす知識の共有や人類の進歩のリソースであると考えています。私たちは、ビジネスニーズにあわせた、拡張性の高い、自動化されたセキュアなネットワークを提供するための革新的な方法の創造に取り組んでいます。

米国本社

Juniper Networks, Inc.
1133 Innovation Way
Sunnyvale, CA 94089 USA
電話番号: 888.JUNIPER (888.586.4737)
または+1.408.745.2000
FAX: +1.408.745.2100
www.juniper.net/jp/ja.html

アジア太平洋地域、ヨーロッパ、中東、アフリカ

Juniper Networks International B.V.
Boeing Avenue 240
1119 PZ Schiphol-Rijk
Amsterdam, The Netherlands
電話番号: +31.0.207.125.700
FAX: +31.0.207.125.701

JUNIPER NETWORKS | Engineering
Simplicity



Copyright 2019 Juniper Networks, Inc. All rights reserved. Juniper Networks、Juniper Networks ロゴ、Juniper、Junos は、米国およびその他の国における Juniper Networks, Inc. の登録商標です。その他すべての商標、サービスマーク、登録商標、登録サービスマークは、各所有者に所有権があります。ジュニパーネットワークスは、本資料の記載内容に誤りがあった場合、一切責任を負いません。ジュニパーネットワークスは、本発行物を予告なく変更、修正、転載、または改訂する権利を有します。